

経皮的血管形成術（カテーテル治療）を受けられる方へ

経過	入院～手術前日（ / ）	手術当日（ / ）		術後1日目	術後2日目（退院予定）	退院後の受診
		術前	術後			
目標	・手術について理解できる	・安心して手術に望める	・手術後の安静が守れる ・術後の合併症(足のしびれ・むくみ等)がない ・点滴があります	・日常生活の注意点が理解できる	・退院後の注意事項が理解できる	・退院後の注意事項が理解できる
薬剤	・必要時中止薬（糖尿病薬等）の確認と説明を行います。	・手術へ行く前に点滴があります 		・採血結果次第で点滴を終了します		
治療・診察	・手術の説明と同意書類の確認 ・カテーテル挿入部確認	・カテーテル挿入部に麻酔テープを貼り治療室で局所麻酔をかけて手術します	・出血防止のため、治療した部位に枕子（かぜやスポンジなど）を当てて固定します	・朝、主治医が診察します ・心電図モニター管理		・主治医が診察を行います
処置	・両下肢の動脈にマジックで印を付けます。【病棟にて】	・検査着、パンツに着替えます ・静脈内留置針挿入 ・尿の管を入れます	・尿の管が入っています。 尿量を計測します。	・朝、医師の診察後、枕子・心電図モニター・尿の管を除去します ・静脈内に留置した針を抜去します	・穿刺部保護剤除去	
検査	・採血、心電図、胸部レントゲン ABI(足関節上腕血圧比) 		・心電図モニター管理 	・採血  ・ABI(午後に外来で行います)		・採血、ABI、SPP(皮膚灌流圧測定)、エコーなど 
食事	・普段通りで可	・朝食可 ・昼食不可 ・手術2時間前から飲水中止	・術後より水分可 夕方から食事が出来ます 	・食事可	・食事可	・普段通りで可
安静度	・制限はありません 	・手術前までは病室内自由です ・治療室までは車椅子またはストレッチャーにて案内します	・ストレッチャーにて帰室 ・ベッド上安静・2時間毎に体位変換をします（必要時） ・鼠径部穿刺時は股関節屈曲不可	・枕子除去後、病棟内を歩行できます ・正座やあぐらを避けてください	・院内自由です 	・術後7日間は重い物を持つたり、激しい運動は控えて下さい ・旅行や長時間立ったり座ったりすることは避けて下さい
排泄・清潔	・制限はありません		・尿は管を通して袋で管理します ・排便はベッド上でおこないます ・入浴はできません 	・尿の管の抜去後はトイレで排泄できます ・シャワー浴可 	・シャワー浴可 ・創部の保護材が濡れたらはがして下さい	・術後7日目から入浴できます 
説明等	・入院生活や手術について説明を行います 	・病棟で入院生活について説明します ・入れ歯、腕時計、装飾品、化粧等の除去を確認します	・検温、足の観察を行います	・検温、足の観察を行います ・主治医より病状、退院について説明があります	・検温、足の観察を行います	・日常生活での注意点について説明します 
その他	★入院日は必ず、お薬手帳をご持参ください					

※入院期間や内容は現時点で予測されるもので症状により変更になることがあります